

# ひびき通信

平成 23 年  
12 月版

新年を迎えた二〇一二年  
一月二十九日(日)と二月  
二十六日(日)に、金田セ  
ンター長による「こだわり

## 金田センター長の こだわりの 入浴セミナー

2012年  
1月29日、2月26日  
連続講座を開催

の入浴セミナーを開催いた  
します。詳しくはホーム  
ページをご覧ください。  
本年も、当センターの企  
画するセミナーにご参加  
いただきまして、ありがと  
うございました。来年もよ  
しくお願いいたします。

## グループホームの居室9部屋に

# 安心の消火用放水ヘッド

在宅サポートセンター生田のスプリンクラー設置工事がこのほど終了し、十一月七日に川崎消防署による検査が実施されました。検査では水圧や放水確認などの実地確認作業を得て検査登録が完了しました。

## 宅老所や事務所、倉庫にも設置されました

スプリンクラー設置工事は、過去に長崎市で死傷者を出したグループホームでの火事を教訓に、事業者に対して義務づけられたものです。当センターでは、十月に工事着工、十一月初旬に完了しました。

## スプリンクラー工事・消防署の検査登録が完了



各居室に2カ所ずつ設置されたスプリンクラー(矢印)。

工事では、二階にあるグループホーム居室九部屋をはじめ、キッチン、フロアに加え、宅老所の二部屋にも合わせて二十九カ所の放水ヘッドが設置された



運営推進会議の後、スプリンクラーや外出時の写真を見学しました。

## スプリンクラーや外出時の写真を見学

グループホーム響で  
運営推進会議を開催

グループホーム響の運営推進会議がこのほど当センターで開催されました。会議には栗谷町内会長、多摩区老人クラブ連合会会長、ご家族の方をはじめ、川崎市役所の担当者など計十一名が参加されました。会議では、九月に行われた外食イベントや、スプリンクラー設置工事について報告。会議の後は、実際にグループホームの居室やホールを訪れ、設置されたスプリンクラーや外出時の写真を見学しました。

ほか、一階の事務室、倉庫などにも設置されました。火災発生時には、六十度の熱を感知することで電動弁が作動し通水。七十度以上の熱を感知した部位のヘッドから放水されます。当センターでは、開所当初に

自動火災報知システムが導入されており、火災発生時には自動的に消防署に連絡が入ることになっています。今回のスプリンクラー設備の導入により、火災への備えがより強固なものに進化することになりました。

## 問題行動の背景に問題介護あり

金田センター長の  
認知症セミナー  
十七名の方が参加

認知症ケアの傾向と対策をテーマにした在宅サポートセンター生田のセミナーがこのほど開催されました。金田セ

ンター長が講師となったセミナーには、



十七名の方が参加されました。

当センターで開催された認知症セミナー。

## セミナーでは、認知症の問題行動といわれる背景にある

問題介護の事例をはじめ、落ち着いた生活が送られるよう

支援する具体的なケアの方法について、センター長が現場で蓄積してきた体験をエピソードを交えてわかりやすく説明しました。

名の方が初めての参加とあって、セミナー終了後も、自分たちが抱える悩みなどについて、個別にセンター長からアドバイスを受けるなどして